

水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、国や都道府県が出す防災気象情報を、5段階※1に整理しました。

＜避難情報等＞			＜防災気象情報＞
警戒レベル	避難行動等	避難情報等	【警戒レベル相当情報(例)】
警戒レベル 5	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	災害発生情報 ※2 ※2 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令（市町村が発令）	警戒レベル 5 相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 等
警戒レベル 4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) ※3 ※3 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令（市町村が発令）	警戒レベル 4 相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル 3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 （市町村が発令）	警戒レベル 3 相当情報 氾濫警戒情報 洪水警報 等
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 （気象庁が発表）	これは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 （気象庁が発表）	

※1 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

避難所での感染予防対策について

新型コロナウイルス感染症の終息が見えないまま出水期を迎えました。災害で避難せざるを得ない状況になった際の感染予防のポイントをお知らせします。

- ①安全な知人宅へ避難しましょう。
安全な建物に避難して避難所での密集を避けましょう。
※避難先を近所の方へ、知らせておきましょう。
- ②避難持ち出し用品に衛生用品を追加しましょう。
マスクや消毒薬、ハンドソープ、体温計、ウェットティッシュ、ビニール袋などが挙げられます。
- ③避難者同士の距離を十分に保ちましょう。
おおむね1家族で4㎡のスペースを確保するのが推奨されています。
- ④避難中の健康管理に注意しましょう。
避難中も体温を測るなど、自ら健康管理をしましょう。
※日頃からの健康観察も心がけましょう。

防災行政無線の電話応答サービス ☎82-0228・☎82-0229
放送を聞き逃した場合の手段として、防災行政無線の電話応答サービスの運用をしています。

●問い合わせ先 / 総務課 防災・地域コミュニティ班 ☎82-4111(内線242)

台風シーズンになりました!!



豪雨災害における「早め早めの避難」をお願いします。

津久見市では、早め早めの避難を促すために、「警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始」の情報を適時お伝えしていきます。

では、その発令タイミングはどのような場合なのか？

- ・夜間から明け方にかけて大雨警報(土砂災害)が継続する、あるいは大雨注意報が大雨警報に切り替わるような事態が想定される場合には夕方からの明け方うちに発令
- ・強い降雨を伴う台風が夜間から明け方に接近・通過することが予想される場合等に発令

人的被害を避けるためには、早めの避難が最も有効です。この「警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始」が発令されたら、すぐに行動してください。一人ひとりの命を守るのは、あなた自身の行動です。

避難の基本は、一定の安全が確保されている指定避難場所への「立ち退き避難」。しかし、避難場所への移動が危険な場合は、近隣の親戚・友人の家、または高い建物や頑丈な建物などへ移動することが望ましいです。さらに、外出すら危険な場合は、屋内でも、より安全な2階やがけから遠い部屋などに移動する「屋内での安全確保」が適切です。

津久見市も今回の出水期から内閣府から示された、下記の「警戒レベル」を用いて情報を発表します。

水害・土砂災害の防災情報の伝え方が変わります

防災情報はいろいろあるけど
いつ避難すればいいの？

逃げ遅れゼロへ!

警戒レベル④で全員避難!!

【警戒レベル】で避難のタイミングをお伝えします。

2019年の出水期(6月ごろ)より、
【警戒レベル】を用いた
避難情報が発令されます。
市町村から【警戒レベル③、④】が
発令された地域にお住まいの方は、
速やかに避難してください。

